

令和 3 年 (2021 年) シカ年度 エゾシカ対策事業結果

1. 遺産地域内 (環境省釧路自然環境事務所)

(1) 令和 3 年 (2021 年) シカ年度 エゾシカ捕獲進捗状況

令和 3 年 (2021 年) シカ年度 地区別・捕獲手法別エゾシカ捕獲合計頭数一覧 (3/15 時点)

捕獲手法	幌別-岩尾別地区	ルサ-相泊地区	知床岬地区	総計
くくりわな	25 (5)	18 (5)	-	43
流し猟式 シャプシューティング	11 (9)	-	-	11
誘引狙撃	55 (22)	-	-	55
罠いわな	46 (15)	-	-	46
計	137 (45)	18 (5)		155
(参考) R2 年度実績計	72 (22)	20 (6)	14 (3)	106

() の数字は捕獲頭数のうち、メス成獣の捕獲頭数を示しています。

知床岬地区については令和 4 年 4 ~ 8 月に捕獲取組を予定しています。

(2) より効率的な捕獲手法 (日没時銃猟) の実施について

昨年度に続き、幌別 - 岩尾別地区の誘引狙撃において日没後最長 3 時間延長して捕獲を実施しました。これまで (3/15 時点) に計 5 回実施し、日没後に計 6 頭 (内メス成獣 3 頭) が捕獲されました。

2 隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）
 遺産隣接地域（林野庁知床森林生態系保全センター）

【事業結果】

令和3年(2021年)シカ年度 地区別・捕獲手法別エゾシカ捕獲頭数一覧(2/28時点)

捕獲手法	ウトロ東地区	オシンコシン地区	春刃古丹地区	総計
囲いわな	-	-	-	-
箱わな	-	-	-	-
くくりわな	40(内メス 24)	29(内メス 12)	6(内メス 0)	75
計	40	29	6	75



図1：遺産隣接地域における令和3(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（ウトロ地区）

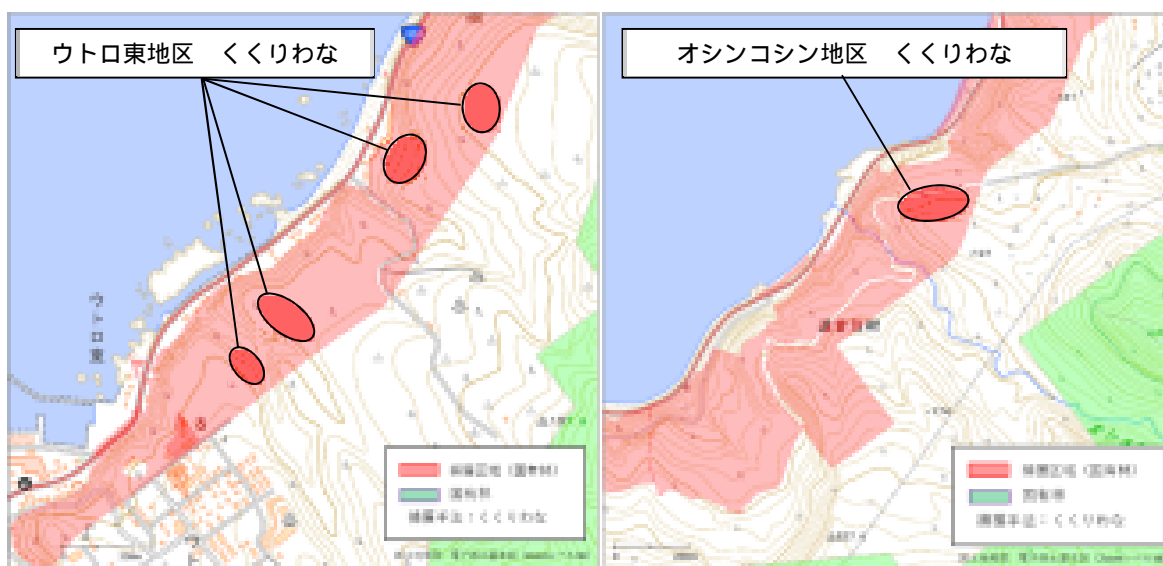


図2：遺産隣接地域における令和R3(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点の詳細（左：ウトロ東地区、右：オシンコシン地区）



図3：遺産隣接地域における令和3(2022)シカ年度エゾシカ捕獲事業実施地点（羅臼地区）

3 隣接地域（北海道・斜里町・羅臼町）

1) 銃による個体数調整

- ・斜里町では令和3年(2021年)6月～9月にウトロ高原農地で2頭、半島基部農地で67頭捕獲しました。
- ・羅臼町では町有林における巻き狩りと流し猟により、令和3年(2021年)10月に37頭、令和4年(2022年)冬季有害捕獲については、現在実施中である（羅臼町鳥獣被害防止協議会）。

2) 銃器以外による個体数調整

- ・羅臼町では、令和3年(2021年)6月～令和4年(2022年)2月現在までに羅網及び交通事故等で衰弱した10個体を電殺等で殺処分した。

3) 狩猟（北海道）(令和3年度(2021年度))

- ・狩猟期間は、10月1日から始まり、翌年1月31日まで（西興部村猟区・占冠村猟区を除く。）
- ・エゾシカの可猟期間は、オホーツク管内は10月23日から始まり、翌年2月28日まで（西興部村猟区を除く。）
- ・斜里町の一部地域においては、捕獲効率の向上を目的として、可猟期間中に中断期間（翌年1月3日から1月14日まで、及び2月1日から2月10日まで）を設定しました。
- ・羅臼町は10月23日から始まり、翌年1月31日まで。
また、個体数調整を図る上で重要なメスジカの捕獲を促すため、全道において、12月1日以降の銃猟によるオスジカの捕獲については、一人1日当たり1頭までとする捕獲数制限を設定しました。